

TAC行政書士講座無料公開セミナー
受験経験者のための戦略的学習法

1. どうしたら行政書士試験に合格できるのか

- ① 「やるべきこと」を
- ② 「やるべきとき」に
- ③ 「しっかり」やる

2. 受験経験者のための戦略的学習法

- ① 軌道修正
- ② 正しい学習法の確認
- ③ 覚悟

1. どうしたら行政書士試験に合格できるのか

⇒①_____を

②_____に

③_____やる

①「やるべきこと」を

⇒行政書士試験の傾向に合わせた対策

例)

- ・ 一般知識で足切りあり
⇒ × 法令のみの学習
- ・ 過去問をつぶしておけば4割程度取れる
⇒ × 「講義を聴く」・「テキストを読む」だけ
- ・ 40字記述は半分取れば十分
⇒ × 択一对策より40字記述対策を優先

②「やるべきとき」に

⇒フェーズの意識

例)

- × 学習初期から40字記述対策をする
- × 講義を受けただけで放置・その後の強化をしない
- × 本番のシミュレーションをせずにぶっつけ本番

③「しっかり」やる

⇒正しい学習方法

例)

- ・ 復習方法
- ・ 問題演習方法
- ・ 40字記述対策

2. 受験経験者のための戦略的学習法

①軌道修正

⇒間違った方向にがんばらない

①－１：得点計画を立てる

<180点到達モデル>

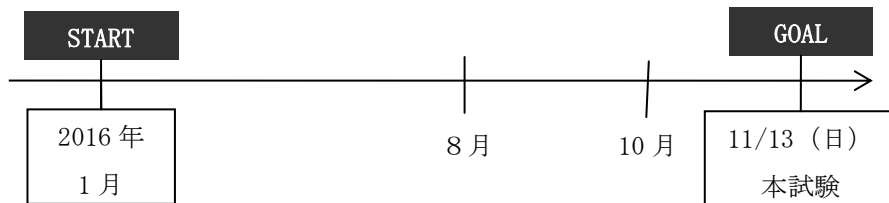
【参考：行政書士試験 合格基準】	
・法令科目の得点が122点以上であること	
・一般知識の科目が24点以上であること（※足切り）	
・試験全体の得点が180点以上であること	
⇒一般知識で24点以上取った上で、トータル180点以上取る＝合格	

分野	科目	問題数	目標点
法令択一	基礎法学	1／2問	4点
	憲法	3／5問	12点
	行政法	15／19問	60点
	民法	5／9問	20点
	商法	2／5問	8点
多肢選択	憲法	3／4個	6点
	行政法	6／8個	12点
40字記述	行政法	－	10／20点
	民法	－	20／40点
一般知識		7／14問	28点
合計			180点

POINT

- ・「捨てる科目」はない（×「商法は捨てる」、「民法で勝負」）
- ・穴を作らない（特に行政法）
- ・40字記述は半分で十分

①－２：学習のフェーズを意識する
＜初学者のパターン＞



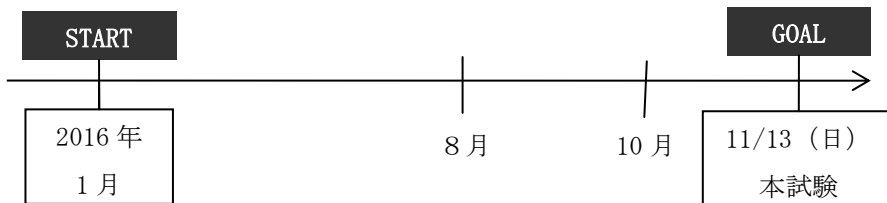
今日～8月	8月～10月	10月～11月
インプット期	強化期	直前期
＜方針＞ なんとか講義について行き、一通りの知識を頭に入れる	＜方針＞ 強化学習をし、実力を合格レベルに引き上げる	＜方針＞ 本番形式に慣れる 最終調整をする
＜学習＞ ・講義受講⇔復習 ・過去問集2周	＜学習＞ ・過去問集3～5周目 ・40字記述問題集を解く	＜学習＞ ・本試験形式の答練・模試の受験⇔復習 ・条文素読 ・暗記事項最終確認

POINT

- ・インプット期を耐え、強化期につなげる
- ・強化期でしっかり伸ばして、良い状態で直前期を迎える
⇒強化期にどれだけ伸ばせたかで合否は決まる
焦らない

①－３：学習フェーズを意識した学習計画を立てる

<受験経験者>



今日～8月	8月～10月	10月～11月
インプット期	強化期	直前期
<方針>	<方針>	<方針>
<学習>	<学習>	<学習>

ADVICE

- ・ インプット期を充実させることが鍵
⇒ 穴を埋める、誤った理解を正しい理解にする
- ・ 直前期に入る時点で 180 点、本試験当日で 200 点以上取れる計画

②正しい学習法の確認

⇒「やるべきこと」を「しっかり」やるために

②－１：復習方法

<プレミアム・スタンダード本科生の場合>

やるべきこと	①前回のミニテストの解き直し
	②レジュメの穴埋め・理解度チェックを解く
	③復習問題を解く
	④過去問集を解く
	⑤テキストを読み直す

<スーパー答練本科生の場合>

やるべきこと	①前回答練の見直し（テキスト・問題集・六法参照）
	②テキストを読み直す
	③前回答練の解き直し （全肢理解・満点を取れる状態にする）
	④（予習）次回答練範囲のテキストを読む （サクセス講義の受講・復習）
	⑤（予習）次回答練範囲の過去問集を解く

POINT

- ・ 短期目標を設定する⇒目標が達成できるように復習する
ミニテスト：満点
スーパー答練：目標点突破
- ・ 数回分溜めない
（自分の中で締切を設ける⇒生活に組み込む⇒生活リズムを作る）
- ・ 丁寧にやる（雑にやったら効果半減）

②－２：問題演習方法

<解き方>

・解き方

問いの把握 … 何の知識を聞く問題か、パターン把握できているか？

↓

知識の喚起 … 喚起する知識は正しいか、正しい知識か、知識量は？

↓

あてはめ

- ・ 全肢について検討する（全肢について知識をインプットしていく）
- ・ 決め手となる箇所にチェックする

<見直し方>

・意識

× 正解できたかどうかだけにこだわる

○ たとえ正解できても考え方が正しかったか確認する

・見直し方

× 解説を読んで満足

○ 解説を読み、適宜テキスト参照ページ、六法を引く（手を使って確認）

②－３：40字記述対策

・40字記述とは

× 事例に対し自分の考えを40字程度で論述するもの

○ 事例に即して主要な条文・判例フレーズを喚起し再現するもの

・ 解き方は択一とほぼ変わらない

問いの把握 … 前置き（事例設定）が少し長い



知識の喚起



あてはめ



形式を整える … 最大 45 字という形式あり・答えの形の指示あり

・ 対策

× 出題されそうな条文・判例フレーズの暗記が全て

（⇒出題されれば 20 点、出題されなければ 0 点）

○ 知識量（択一对策）＋解き方（択一問題演習）＋形式慣れ（40 字記述問題演習）で勝負する

（⇒完璧ではなくても正しい知識を喚起し部分点を取ることができる）

③覚悟

⇒「今年の試験に合格する」と決める。

⇒「どうしたら私は今年の試験に合格できるだろうか？」と自問する。